

北九州空港アクセス強化施策パッケージ

目標

時間短縮等による
アクセス利便性の向上

アクセス満足度の向上
と航空旅客の拡大

福岡空港の補完
・連携機能の強化

空港の通勤環境改善
と担い手の確保

経済・社会情勢の変化に対応した
持続可能な空港アクセスの構築

(効果の凡例) 速:速達性向上、頻:頻度増加、量:輸送力増加 客:航空旅客の増加 他:話題性を有する、サービス向上、北福連携

アクセス強化施策

		施策	効果				
			速	頻	量	客	他
バス	B1	⑩エアポートバスの増便(小倉線ノストップ便(17→25往復)、朽網線(27→50往復))、④小倉線のパートナーダイヤ化		頻	量	客	
	B2	⑩朽網線にノンストップ系統を導入し、速達性を向上(17分→15分未満)	速			客	
	B3	⑩決済サービスの向上(エアポートバスにタッチ決済を導入)、④座席予約サービスの導入					他
	B4	⑩航空便に接続していない時間帯のアクセスバスを活用し、早朝深夜便を利用する空港宿泊客を創出				客	他
	B5	④小倉線に新幹線口バス停を新設し、速達性を向上(所要時間40分→33分)	速			客	
	B6	④バス路線網のさらなる拡大、充実(福岡、下関、行橋、別府など)	速	頻	量	客	他
鉄道	R1	日豊本線を活用した特急停車駅の創設(⑩朽網駅、④新駅)(黒崎・折尾、大分、福岡方面の利便性向上)	速	頻	量	客	他
	R2	⑩鉄道の空港乗り入れ(検討再開に向けて航空旅客数200万人達成に向けた取組みを強力に推進)	速	頻	量	客	他
自動車	V1	タクシーサービスの拡充(⑩定額料金エリアの拡大、④相乗タクシーサービスの充実など)					他
	V2	レンタカーサービスの拡充(⑩多言語ナビ対応車の増強、④多様な車種など)					他
	V3	⑩繁閑期や駐車位置などを考慮した変動型の駐車料金の導入、④駐車場の増設			量	客	他
	V4	⑩新たなアクセス道路	速		量	客	他
モード 連携	T1	⑩福岡方面のバスと接続するバス停(南朽網、中谷、引野口)の待合環境向上し、乗継利便性を向上			量	客	他
	T2	⑩スマートバス停を活用し、航空やJRなどのタイムリーなアクセス情報を提供することでモード横断しやすい環境を構築					他
	T3	複数のアクセス手段の一括決済サービス(④バス⇄JR乗継ぎ、④空港MaaS)				客	他
イノベーション	I1	エアポートバスでの自動運転技術の導入(⑩LV2実証試験(朽網線)⇒④社会実装)	速	頻	量	客	他
	I2	空飛ぶクルマ等新技術による輸送モードの導入(⑩実証フライト⇒④乗降施設整備・事業者誘致⇒④社会実装)	速	頻	量	客	他
	I3	次世代バイオディーゼルによる脱炭素化の推進(⑩実証⇒④社会実装・ガライフーン構築)				客	他
	I4	EVバスによる脱炭素化の推進(⑩急速充電器の整備⇒④EVバスの導入拡大)			量	客	他
PR	P1	⑩空港アクセス利便性の強力な広報 バスの速達性(33分)や定時性、乗継ぎ利便性、駐車場の安価であること、レンタカーが利用しやすい空港、福北リムジンと天神相乗タクシーの接続利便性などをSNSで発信、効果的なプロモーションを実施				客	他
	P2	⑩アクセスに関するアンケートなど調査・研究(PRの手段としても活用)					他